



法・文・国際・心理・社会・経済・経営・地域創造に続く 2025年理工学部(仮称・設置構想中)を新設へ

追手門学院大学(略称：追大、大阪府茨木市、学長：真銅正宏)は、2025年4月に、理工学部(仮称・設置構想中)を新設する構想を進めています。

昨年4月に発表(https://www.otemon.ac.jp/whatsnew/pressrelease/04_20220425.html)した、ほぼ全ての既存学部が移転する2025年4月開設予定の総持寺キャンパス新校舎(Ⅱ期棟)と合わせ、新たな総合大学への進化をめざします。

2025年4月開設を構想している理工学部(仮称・設置構想中)のキーワードは「心地よい社会のためのものづくり」。人文・社会学系中心の総合大学として培ってきた教育・研究をベースに、理工学系の専門的な学びを加え、Society5.0の実現に貢献するイノベーション人材の育成をめざします。

具体的には理工学部理工学科を開設し、数理科学専攻、機械工学専攻、電気・電子工学専攻、情報工学専攻の4つの専攻を設けます。入学定員は4専攻合わせて160～200人程度を想定。学士(工学)または学士(理学)の学位を授与します。また入学初年度は、2025年4月開設予定の茨木総持寺キャンパス新校舎(Ⅱ期棟)等で人文・社会学系学部の学生との「学びあい、教えあい」を進め、2年次以降は茨木安威キャンパスで専門分野の研究を深めることを検討しています。

追大は2023年4月の法学部開設により、法・文・国際・心理・社会・経済・経営・地域創造の人文・社会学系を網羅した総合大学となります。理工学部が完成年度を迎える2028年度には、学生数1万人規模の文理の専門分野を備えた総合大学へと進化し、公表済の「長期構想2040」で示すイノベーション拠点の実現に向け文理の枠を超えた新たな大学像を追求していきます。

【ポイント】

- 理工学部理工学科を2025年4月に開設予定(仮称・設置構想中)。入学定員160～200人。
- 数理科学専攻、機械工学専攻、電気・電子工学専攻、情報工学専攻の4つの専攻
- 2025年4月開設予定の茨木総持寺キャンパス新校舎(Ⅱ期棟)も活用。

なお、設置計画は予定であり、内容は変更となる可能性があります。
最新情報は大学公式ホームページ等で随時発信していきます。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西

理工学部(仮称・設置構想中)

設置予定年度	2025年度	入学定員	160～200人
学部・学科の名称	理工学部 理工学科 数理科学専攻 機械工学専攻 電気・電子工学専攻 情報工学専攻	編入学定員	なし
学位又は称号	学士(工学)・学士(理学)	収容定員	640～800人
学位の分野	理学関係・工学関係	開講キャンパス	1年次：総持寺C 2～4年次：安威C

構想中の概要